

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる</li> <li>自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことのできるものを見つけることができる</li> <li>当該課題と向き合う中で、その課題に関わり学ぶ事が自分自身の人生においてどのような意味を持つのかを自覚する事ができる</li> <li>社会的課題に向き合う中で、人間は社会的・文化的・歴史的な構造関係の中に存在している事に気づき、社会に参画・貢献する姿勢を持つことができる</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる</li> <li>データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる</li> <li>自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことのできるものを見つけることができる</li> <li>当該課題と向き合う中で、その課題に関わり学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのかを自覚することができる</li> <li>社会的課題に向き合う中で、人間は社会的・文化的・歴史的な構造関係の中に存在していることに気づき、社会に参画・貢献する姿勢をもつことができる</li> </ol>	

授業日	6/22(木)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 4 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】①【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ 尼崎ユース交流センターを訪れ、若者支援の概要と現状について理解する ・ 尼崎ユース交流センターの活動内容を知り、社会に参画していく重要性を理解する		
時間	40 分	尼崎ユース交流センター長片岡一樹さんによる講演	
授業内容	20 分	尼崎ユース交流センター内を見学	
評価方法	観点①	尼崎ユース交流センターの活動内容を知り、社会に参画することの重要性やその意義について説明することができる	
	A	尼崎ユース交流センターの活動内容について理解しており、社会に参画することの重要性や意義について説明できていると同時に、参画しようという意識を持つことができる	
	B	尼崎ユース交流センターの活動内容について理解しており、社会に参画することの重要性や意義について概ね説明できている	
	C	尼崎ユース交流センターの活動内容について説明できている	
宿題指示	・ 学びの記録を完成させ、次回授業前日までに提出する		